

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	GPS-3		
保証期間	※ お買い上げ年月日		1 年 間
	平成	年 月 日から	
※ お客様	住所	〒 電話	様
	氏名		
※ 販売店	店名		®
	住所	〒 電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 横浜市南区白妙町4丁目43番地4
サービス部：TEL. 045 (251) 2687

 **MARUHAMA**

GPSレシーバー搭載
レーダー探知機

GPS-3

取扱説明書

〈保証書付〉

GPS-3をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

目次







1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	3
4. 各部の名称とはたらき	4
5. 取付方法	7
6. 電源の接続・配線	8
7. 使用方法（基本操作編）	
1. 操作方法	9
2. 通常動作モードの画面表示	10
3. レーダー波を受信すると	12
4. オービス登録位置に接近すると	13
5. 登録されているオービスがレーダー波式の場合は	14
6. オートミュート機能	15
7. テスト／ミュート機能	15
8. 使用方法（応用操作編）	
1. 各種動作モードと操作方法	16
2. 一般設定モードの設定方法	
〈登録されているオービスを区別し警告をカットしたいとき〉	18
〈音量の調節〉	21
〈GPS警告音を変更したいとき〉	23
〈AAC（オートアラームカット）の反応速度を変更したいとき〉	25
〈レーダーの受信感度を設定します〉	27
〈オービス登録点とオリジナルポイント（ユーザーメモリー）の優先順位〉	29
〈振動センサーの感度を設定します〉	31
〈一般設定モードを全て初期状態にもどす〉	34
3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法	35
〈登録した内容を全てクリアしたいときは〉	39
〈オリジナルポイント登録位置に接近すると〉	41
〈ナビポイントの使い方〉	43
4. アドバンス設定モードの設定方法	
〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉	44
〈登録オービスの反応方位を変更したいとき〉	46
〈極近反応距離（オービスエリア距離）を変更したいとき〉	48
〈高速反応距離とその速度を変更したいとき〉	50
〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉	52
〈アドバンス設定モードを全て初期状態にもどす〉	54
5. セキュリティモードの設定と警告方法	55
〈セキュリティモードを解除するには〉	56
6. その他の別売品	56
9. 使用上のご注意	57
10. 故障とお考えになる前に	58
11. 主な仕様	59

1. 安全についてのお願いとご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。





警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)


-  ■**運転の妨げにならない場所に取り付けてください。**
本機は、運転の妨げにならないように、フロントガラスに取り付けてください。
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■**本機を濡らさないでください。**
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■**車を運転中に本機を操作しないでください。**
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■**ケースは絶対にあけないでください。**
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■**スピードの出しすぎにご注意ください。**
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けてください。
-  ■**発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと、火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■**衝撃や強い振動を加えないでください。**
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■**動作範囲内の温度条件下でご使用ください。**
本機は0℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
-  ■**高温時の取り扱いにご注意ください。**
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
-  ■**ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。**
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

機能上の制約

-  ■**日本国内で使用してください。**
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式が異なりますので、使用できません。
- GPS電波が受信できない場合はレーダー受信機のための機能となります。**
- 周囲の環境により、レーダー及びGPSの電波が受信しにくい場合があります。**
前方に走行中の車（とくに大型車）がいる場合や、カーブ、坂道などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。**
取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラ一式自動ドアおよび車両通過計測器、港湾、航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

2. 製品の構成

お買い上げいただいたGPS-3は次の品目から構成されています。

- 本体 1台
- 取り付けステー 1個
- 吸盤 3個
- カー電源コード 1本
- コードクリップ 5個
- 取扱説明書兼保証書（本紙） 1冊

※本説明書を紛失、汚損された場合は、切手400円分を同封の上、弊社宛にご請求ください。

3. 主な特長

■日本国内オービス位置をメモリー

メモリーしてあるオービス位置に近づくGPS電波による自車位置測定で音と表示で警告。

■どなたでもすぐ使用できる通常動作モードから各種設定モードの組み合わせによるカスタム仕様まであなたのドライブスタイルにあわせ、お好みのレーダー探知機が誕生します。

■多彩な情報を表示できる見やすい大型液晶ディスプレイ採用

■オリジナルポイントは緯度、経度入力も可能

現地登録だけでなく、どこでも入力が可能です。(最大100ポイント)

■ナビ機能

オービスや目的地の方向、距離が表示できます。

■高速道路／一般道路識別モード搭載

設定モードでGPS警告を高速道路／一般道路／全ての道路／レーダー機能のみの4モードから選択することができます。

■オービス反応方位は±20°～±180°設定可能。

反応方位を狭くすれば不要な車線の警告をカットできます。180°にすれば全方位(360°)に反応します。

■AAC（オートアラームカット）反応速度は0km/h～60km/hまで設定可能

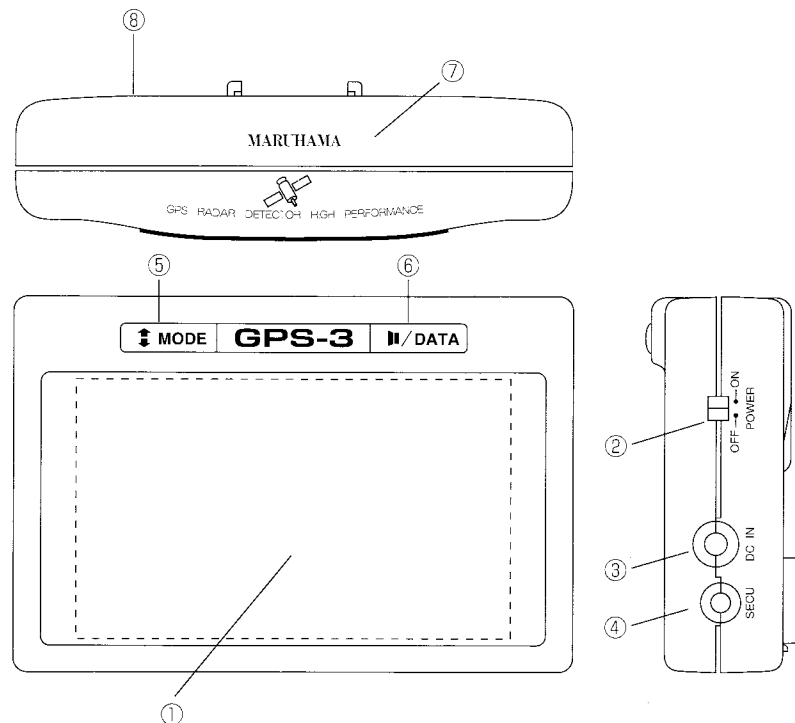
GPS電波が受信できないときは、自動的に振動センサーで検知。

■スピード表示／標高表示／時計表示

スピードは999km/hまで表示できます。

■その他、盗難警告等多彩な機能を満載。

4. 各部の名称とはたらき



①LCDディスプレイ

各種動作モードや設定モードを表示します。(バックライト付)

②電源スイッチ (POWER)

本機の電源をON/OFFします。

③電源ジャック (DCIN)

付属のカー電源コードを接続します。

④外部セキュリティ端子 (SECU)

別売品の車のクラクションを鳴らすユニットを接続することができます。

⑤モードスイッチ (MODE)

各種動作モードの画面切替。1.5秒以上の長押しで一般設定モード移行、設定後1.5秒以上の長押しで設定値確定。

⑥ データースイッチ (DATA)

各種設定値の変更。1.5秒以上の長押しでオリジナルポイント設定モード移行。設定後1.5秒以上の長押しで設定値確定。

⑦ GPSアンテナ部

人工衛星からのGPS電波を受信します。

⑧ レーダーアンテナ部

レーダー波を受信します。

⑦ 登録点接近マーク (AREA)

登録オービスや、オリジナルポイント登録点に接近すると点灯/点滅

⑧ AACマーク (DRIVE)

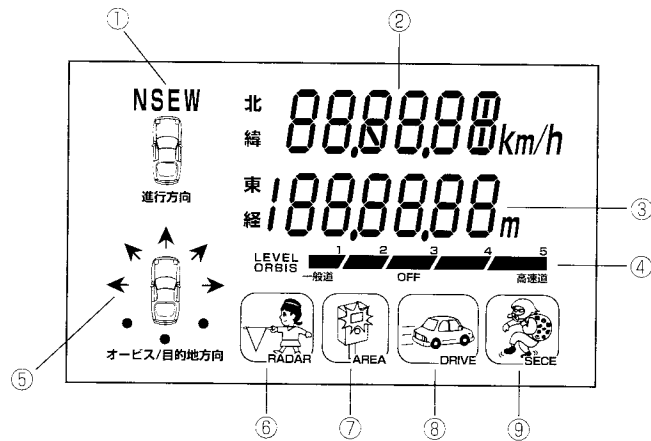
AAC反応速度未満で消灯 (アラームカット)

AAC反応速度以上で点灯/点滅 (アラームON)

⑨ セキュリティマーク (SECU)

位置データ登録で点灯。セキュリティ警告動作で点滅。

〈LCDディスプレイ部〉



① 自車の進行方向表示

② スピード表示、座標表示 (北緯)、時計表示 (年、月、日)

その他、機能表示、設定表示等

③ 標高表示、座標表示 (東経)、時計表示 (時、分、秒)、オービス/目的地までの距離

その他、機能表示、設定表示等

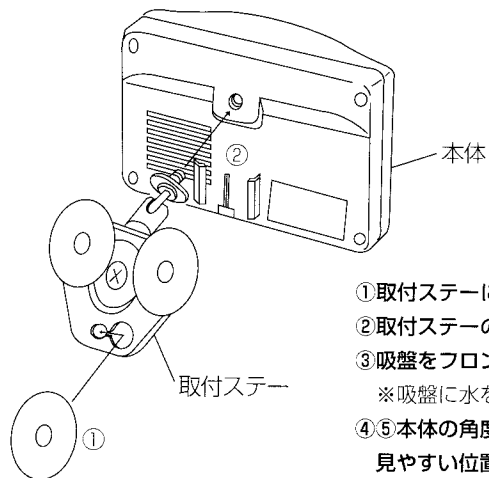
④ レーダー受信感度レベル表示、オービス選択表示

⑤ オービス方向や目的地方向表示

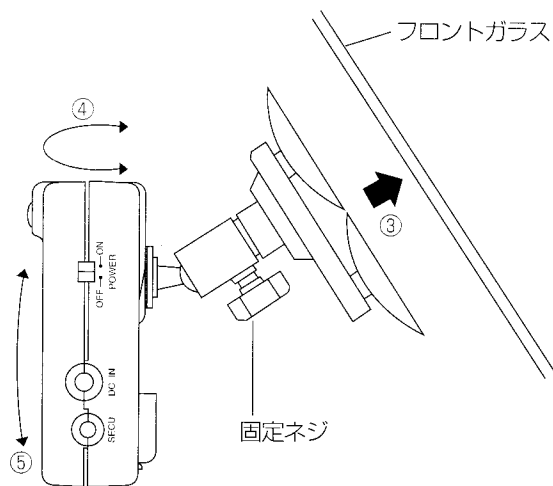
⑥ レーダー受信マーク (RADAR)

レーダー波を受信すると点灯/点滅

5. 取付方法



- ① 取付ステーに吸盤を取り付けます。
- ② 取付ステーのネジを本体にねじ込みます。
- ③ 吸盤をフロントガラスに吸着させます。
※吸盤に水をつけると吸着しやすくなります。
- ④⑤ 本体の角度は上下、左右に可変できますので、見やすい位置に固定してください。

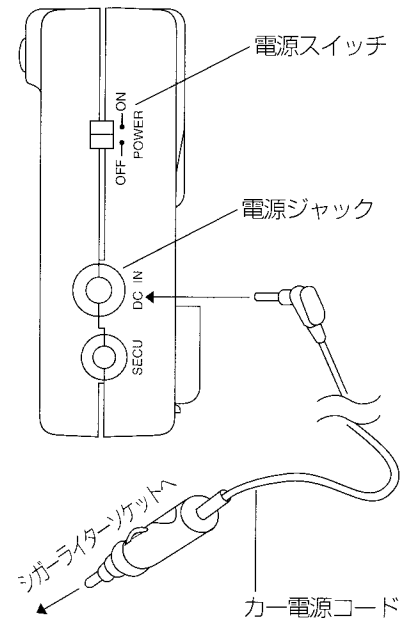
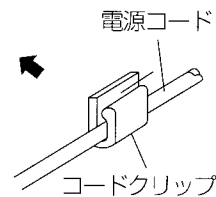


ご注意

- レーダー波受信部やGPSアンテナ部に、金属やゴムなどの障害物がこない場所に取付けてください。
- 天空の開いている場所に設置し、GPS電波を受信しやすいようにしてください。
- 運転の妨げにならない場所に取付けてください。
- 取付けの際に、本体が落下しないようにしてください。

6. 電源の接続・配線

- ① 付属のカー電源コードにて接続します。
- ② 本体の電源スイッチはOFFにしておきます。
- ③ 電源コードのL型プラグ側を本体の電源ジャックに差し込み、電源プラグ側を車のシガーライターソケットに差し込みます。
- ④ 付属のコードクリップのはくり紙をはがし、配線する場所へ貼り付け、コードクリップの溝に電源コードをはさみ込んで固定します。



ご注意

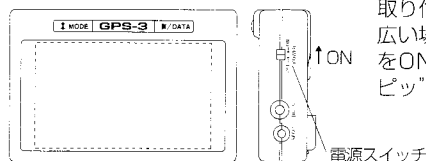
- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますのでよく掃除をしてから取付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。
- 電源コードは絶対に途中で切断したり、折り曲げたり、束ねたりしないでください。ショート等により、本製品や車が破損する場合があります。
- 接続、配線は運転の支障のない安全な場所を選び、車のエンジンを切っておこなってください。

7. 使用方法 (基本操作編)

本製品は最新のハイテク技術を採用していますので、多彩な機能を有しています。ここでは、購入してすぐ使用できる基本操作編とさらに便利に使用できる応用編にわけて説明します。

1. 操作方法

1. 電源を入れます。



取り付けと配線が完了しましたら、視界の広い場所に車を駐車し本体の電源スイッチをONにします。ONにすると“ピッピッ”とアラームが3回鳴ります。

2. 画面が衛星数表示画面になります。

捕捉衛星数が表示されます。(点滅)
〈自転車位置計算中〉



ご注意

- 衛星数表示画面(衛星数点滅)のときはGPSによる警告はできません。

3. 自転車位置の確認を確認します。

捕捉衛星数が自転車位置を確認できる数になると、数字が点灯し自動的に通常動作モードに入ります。

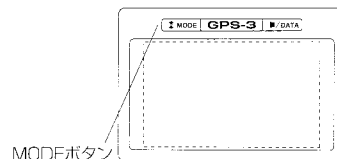
ご注意

- 自転車位置確定まで3分程度かかりますが、場合によっては長くなる場合があります。このような場合は、取り付け場所を変えるか天空の開いている場所に移動して、GPS電波を受信しやすいようにしてください。特に購入して初めて電源を入れたときや、長時間使用しなかったときは、確定するまで時間がかかります。

4. 通常動作モードに入ります。

2. 通常動作モードの画面表示

通常動作モード時の画面表示はMODEボタンを押すことにより5種類の画面に切り替わります。



- MODEボタンを押す毎に下記の画面に変わります。

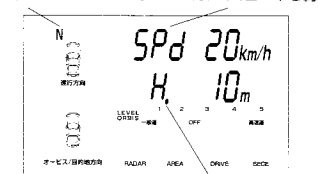
①衛星数表示画面



捕捉衛星数が表示されます。(12個まで)

②速度/標高表示画面

(※1)
進行方向を示します。
(この場合は北に向かって進行) スピード表示



走行速度表示、標高が表示されます。速度は999km/hまで表示できます。

(※1) 自転車進行方向表示は自転車位置確定後走行すると点灯します。北北東ですとN点滅、E点灯となります。

(※2) 標高表示になるには捕捉衛星数が5個以上必要です。

③ナビゲーション表示画面

登録アドレス番号

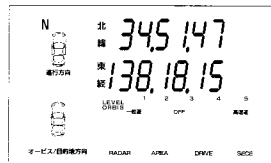
登録したナビポイントのアドレス、距離、方位を表示します。
(応用操作編P35オリジナルポイント登録参照)



ご注意

- ナビポイント登録点がないときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。(お買い上げ時は登録されていません)
- ナビポイントが複数あるときは、MODEボタンを押す毎にアドレス番号順に表示されます。この時MODEに1.5秒以上の長押しがあると次の座標表示画面になります。

④座標表示画面



現在位置の緯度、経度を表示します。

⑤時刻表示画面



現在年、月、日、時、分、秒を表示します。

通常動作モード時の注意

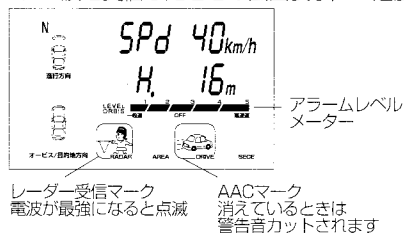
- 走行中、トンネルなどGPS電波を受信できなくなると、画面は衛星数表示画面に自動移行します。自転車位置の確定ができると再び元見ていた画面に戻ります。
- 再度、電源を入れたときは、自転車位置が確定時OFFする前の画面が最初に表示されます。
- “DATA” ボタンを押しながら “MODE” ボタンを短押しすると画面が逆方向に変化します。

3. レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびレーダー受信マーク、アラームレベルメーターによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音、アラームレベルメーターが変化します。ステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
警告音	電波が強くなるにつれて鳴る間隔が短くなります。“ピポッ”	強い電波を受信したとき鳴ります。“ピビ”
レーダー受信マーク	電波を受信すると点灯。電波の強度が最強になると点滅。	点滅します。
アラームレベルメーター	電波が強くなるにつれて段階的にメーターの数が多くなります。電波が最強になると流れるように点灯します。	流れるように点灯します。

〈レーダー波を受信したときの画面表示〉…速度/標高画面を見ている場合



ご注意

- 走行速度が30km/h未満のときはレーダー波を受信しても警告音はカットされません。(AACマークが消えているとき)
AAC速度は変更することができます。
(応用操作編P25一般設定モード〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照)
- 本製品はステルス取り締まりに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス専用アラームが鳴る場合があります。
- 前方に走行中の車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 電波式の自動ドア、信号機付近に設置されている車両通過計測器などは取り締まりレーダー波と同じ種類の電波が使用されています。そのため、これらの機器周辺でレーダー探知機が反応するのは避けられません。

4. オービス登録位置に接近すると

本製品にあらかじめ登録されているオービスに近づくと、警告音および登録地点接近マークでお知らせします。

警告音、登録点接近マークは走行速度や登録ポイントに近づく／遠ざかるにより、警告方法が少し異なります。下表を参考にしてください。

	登録点からの距離（※1）	設定速度（※2）80km/h以上	30km/h～設定速度80km/h未満
警告音	1200m (高速反応距離)	接近でベル音がなる。 遠ざかると鳴らない。	鳴らない。
	800m (オービス反応距離)	↓	接近でベル音が鳴る。 遠ざかると鳴らない。
	600m (高速反応距離の1/2)	接近でベル音の鳴る間 隔が短くなります。遠 ざかると鳴らない。	↓
	400m (オービス反 応距離の1/2)	↓	接近でベル音の鳴る間 隔が短くなります。遠 ざかると鳴らない。
	200m (オービスエリア距離)	ベル音の鳴る間隔が短 い。(接近／遠ざかる 共)	ベル音の鳴る間隔が短 い。(接近／遠ざかる 共)
登録点接近 マーク	1200m (高速反応距離)	点灯。	消灯
	800m (オービス反応距離)	↓	点灯。
	600m (高速反応距離の1/2)	点滅。	↓
	400m (オービス反 応距離の1/2)	↓	点滅。
	200m (オービスエリア距離)	↓	↓

ご注意

- オービス登録点の警告はGPS電波を受信していないと動作しません。
(衛星数表示画面で数字が点滅のとき)
一般にトンネル、森林の多い山間部、高層建築物の近く、高架道路の下などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
- 走行速度が30km/h未満の場合、警告音はカットされます。(AACマークが消えているとき)
AAC速度は変更することができます。
(応用操作編P25一般設定モード<AAC反応速度を変更したいとき>参照)
- (※1) 登録点からの距離(高速反応距離/オービス反応距離/オービスエリア距離)は変更することができます。(応用操作編P44アドバンス設定モード参照)。
お買い上げ時は高速反応距離：1200m
オービス反応距離：800m
オービスエリア距離：200mに設定。
- (※2) 設定速度は(応用操作編P50アドバンス設定モード参照)。お買い上げ時は80km/hに設定。

5. 登録されているオービスがレーダー波式の場合は

登録されている取締機がレーダー波を放射している場合の警告は、警告音の選択により優先順位が変わります。

<警告音をbELL(ベル)とした場合>…お買い上げ時はベルに設定

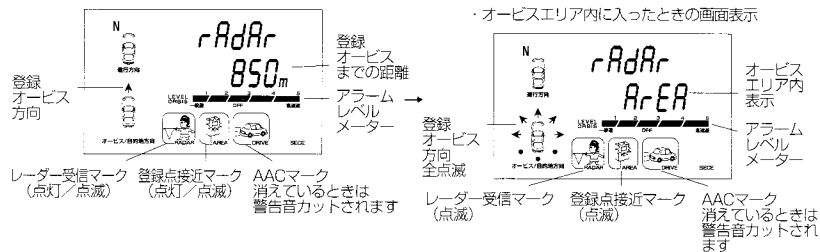
- レーダー警告音を優先します。

<警告音をSonG1(メロディ1)又はSonG2(メロディ2)とした場合>

- GPSによる警告音を優先します。

※警告音の設定方法は応用操作編P23一般設定モード<GPS警告音を変更したいとき>参照。

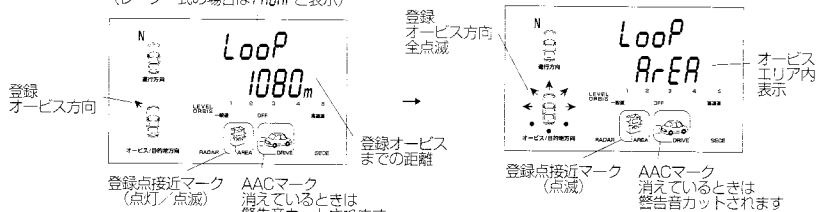
<画面表示>



<オービス登録位置に接近したときの画面表示>

登録点が反応距離範囲に入ると自動的に警告表示画面に変わります。画面にオービスの種別(ループコイル式/レーダー式)、登録点までの距離、方位が表示されます。

オービスの種別：ループコイル式
(レーダー式の場合は、rAdArと表示)



6. オートミュート機能

GPS警告音およびレーダー受信警告音は一定時間経過すると音量が小さくなります。

7. テスト/ミュート機能

- レーダー波やGPSによる警告音が鳴っていないとき、「DATA」ボタンを短く押すと、テストアラームが鳴ります。(テスト機能)
- レーダー波やGPSによる警告音が不要になった場合は「DATA」ボタンを短く押すと、音がカットされます。(ミュート機能)
- 警告音がカットされているとき「DATA」ボタンを短く押すとカットが解除され、警告音が鳴ります。

8. 使用方法 (応用操作編)

本製品は通常動作モードの他に多彩な機能を使用できる各種動作モードがあります。各種設定の組み合わせにより、お好みのカスタム仕様が可能になります。

1. 各種動作モードと操作方法

〈動作モード表〉

動作モード	画面	主な動作
通常モード	衛星数表示画面	使用衛星数表示(10個~12個)
	速度/標高表示画面	走行速度表示、海拔高度(標高確定時)表示
	警告表示画面	接近したオービス種別、距離、方位を表示 ユーザ登録点の場合は、アドレス、距離、方位を表示
	ナビ表示画面	ナビポイントのアドレス、距離(最大1999000m)、方位を表示
	座標表示画面	現在位置の緯度、経度を表示
一般設定モード	時刻表示画面	現在年、月、日、時、分、秒を表示
	オービス選択画面	高速モード/一般道モード/全モード/OFFの選択
	音量設定画面	出力音量設定
	GPS警告音選択画面	登録点接近音選択、ベル、メロディを指定
	AAC反応速度設定画面	AAC反応速度設定
	レーダ感度設定画面	LOCAL1、LOCAL2、SUPER1、SUPER2/OFF選択
	優先動作指定画面	反応距離圏内にオービス、ユーザ併存時の優先を指定
	振動センサ設定画面	衛星未補足時にセンサ使用、未使用設定、反応感度設定
オリジナルポイント (ユーザ)設定モード	リセット画面	お買い上げ時に戻す(※)
	アドレス指定画面	登録アドレス指定
	属性設定画面	警報許可/警報不許可/ナビポイント/未登録の指定
	反応距離設定画面1	ユーザ登録点の反応距離設定
アドバンス設定モード	緯度/経度設定画面	設定位置入力(何もしなければ現在位置)
	クリア画面	ユーザ登録を一括オールクリアする
	反応距離設定画面2	オービス反応距離設定
	反応方位設定画面	オービス許容方位設定
	極近距離設定画面	オービスエリア設定
	高速度設定画面	高速定義、及び高速時の反応距離倍率の指定
セキュリティモード1	警報時間設定画面	セキュリティ動作のセットアップ時間設定
	リセット画面	お買い上げ時に戻す(※)
セキュリティモード2	セキュリティ画面1	セキュリティ動作準備、タイムカウント開始
初期化モード	セキュリティ画面2	セキュリティ動作開始、ブザー鳴動
	初期化画面	LCD表示全点灯してGPSレシーバをインシャライズ

(※) お買い上げ時の場合は画面表示されません。

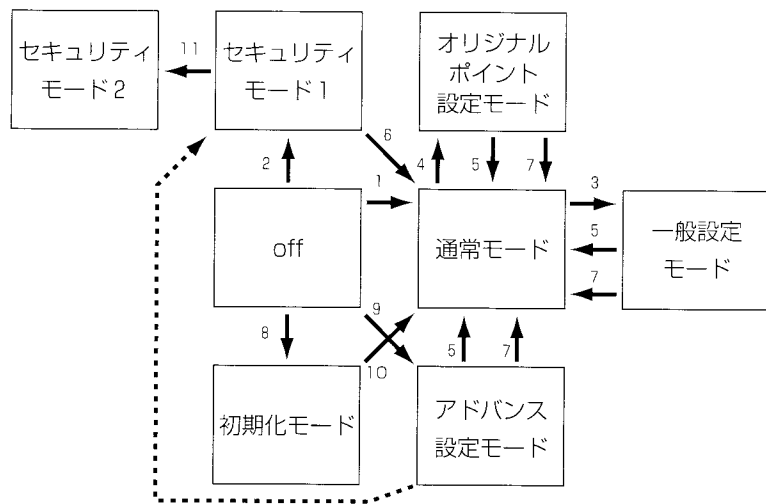
— × モ —

- ・各モード内の画面切替はMODEボタンを押します。
- ・各設定値はDATAボタンを押して選択します。

〈動作モード移行表〉

各種動作モードに移行する表です。詳しい操作方法は後述の各動作の説明を参照してください。

移行番号	操作方法（移行条件）
1	電源ON、位置ロックデータなしの場合
2	電源ON、位置ロックデータありの場合
3	MODEボタンを1.5秒以上長押し
4	DATAボタンを1.5秒以上長押し
5	MODEボタン又はDATAボタンを1.5秒以上長押し（設定値有効）
6	MODEボタンとDATAボタンを同時に1.5秒以上長押し
7	20秒間の無操作（自然移行、設定無効）
8	MODEボタンとDATAボタンを同時に押しながら電源ON
9	MODEボタン又はDATAボタンを押しながら電源ON
10	初期化終了（自然移行）
11	自転車位置確定後セットアップ時間経過（自然移行）



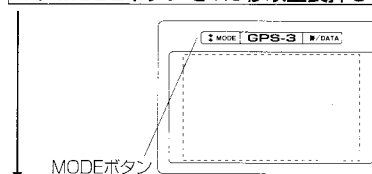
※位置ロック設定後、アドバンス設定モードに入り、設定確定した場合はセキュリティモード1に移行します。

2. 一般設定モードの設定方法

〈登録されているオービスを区別し、警告をカットしたいとき〉

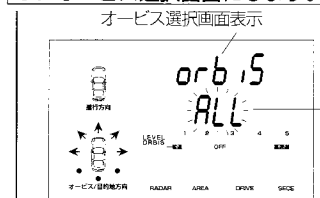
本製品はあらかじめオービスポイントが登録されていますが、（全ポイント反応する／高速道路のみ反応する／一般道のみ反応する／全く反応しない）の4つのモードを選択できますので、オービスを区別して不要な警告をカットすることができま

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



2. 一般設定モードになります。

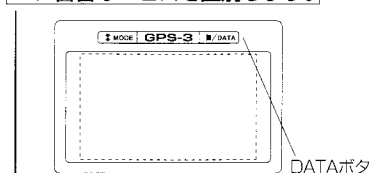
3. オービス選択画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、オービス選択画面にしてください。

- “DATA” ボタンを押しながら“MODE” ボタンを短く押すと選択画面が逆方向に変化します。このとき“DATA” ボタンを1.5秒以上押してから“MODE” ボタンを押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

4. 警告オービスを区別します。



“DATA” ボタンを短く押す度に区別表示が
 ALL → HI → LO → OFF
 と切り替わりますので選択してください。

- “ALL” を選択すると登録されたすべてのオービスに反応します。（お買い上げ時はALLになっています。）
- “HI” を選択すると高速道路のみ反応します（※1）
- “LO” を選択すると一般道路のみ反応します。

- “OFF” を選択すると全てに反応しません。
(レーダー探知機の機能のみになります。但し、オリジナルポイント登録は反応します)

メモ

- “MODE” ボタンを押しながら “DATA” ボタンを短く押すと設定値が逆方向に変化します。このとき “MODE” ボタンを1.5秒以上押してから “DATA” ボタンを押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。
(設定終了)

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには “MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり “ブー音” とともに通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

(※1) 本製品では高速道路の指定は下記としてあります。

道央自動車道	北陸自動車道
東北自動車道	東名阪自動車道
秋田自動車道	名神高速道路
山形自動車道	近畿自動車道
常磐自動車道	阪和自動車道
館山自動車道	阪神高速道路
千葉東金道路	第2神明加古川バイパス
東関東自動車道	神戸淡路鳴戸自動車道
関越自動車道	中国自動車道
上信越自動車道	山陽自動車道
首都高速道路	米子自動車道
第三京浜道路	浜田自動車道
横浜横須賀道路	高松自動車道
東京外環自動車道	松山自動車道
中央自動車道	福岡都市高速
長野自動車道	九州自動車道
東名高速道路	大分自動車道
東海北陸自動車道	長崎自動車道
名古屋高速道路	宮崎自動車道
南知多道路	沖縄自動車道
能登有料道路	

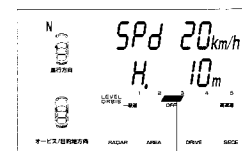
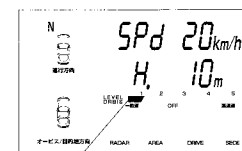
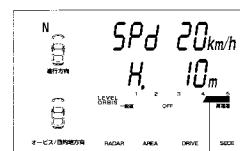
ご注意

- オービス選択画面で高速道路のみ (HI) を選択した場合、(P50) 高速度設定スピード未満のときはGPSによる警告はカットされますので注意してください。(お買い上げ時は80km/hに設定されていますので80km/h未満走行ではGPS警告音はカットされます)
但し、AAC反応速度を0 km/hとしたときは設定速度に関係なく反応します。
- オービス選択画面で “ALL” 以外を選択した場合、通常動作モードでの画面表示は下記ようになります。

高速道路のみを選択しているときの表示

一般道のみを選択しているときの表示

“OFF” を選択しているときの表示



点滅

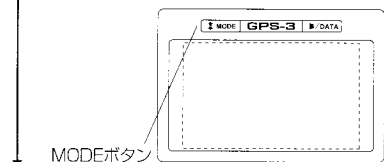
点滅

点灯

- レーダー波を受信したときは、バググラフは自動的に受信レベルメーターになります。

〈GPS警告音を変更したいとき〉…ベル音、メロディ1、メロディ2
GPSによる警告音を変えることができます。

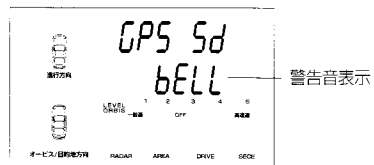
1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



2. 一般設定モードになります。

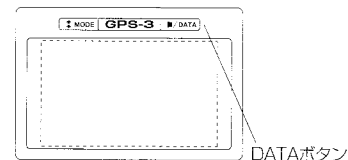
3. GPS警告音選択画面にします。

GPS警告音選択画面表示



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでGPS警告音選択画面にしてください。

4. 警告音の指定をします。

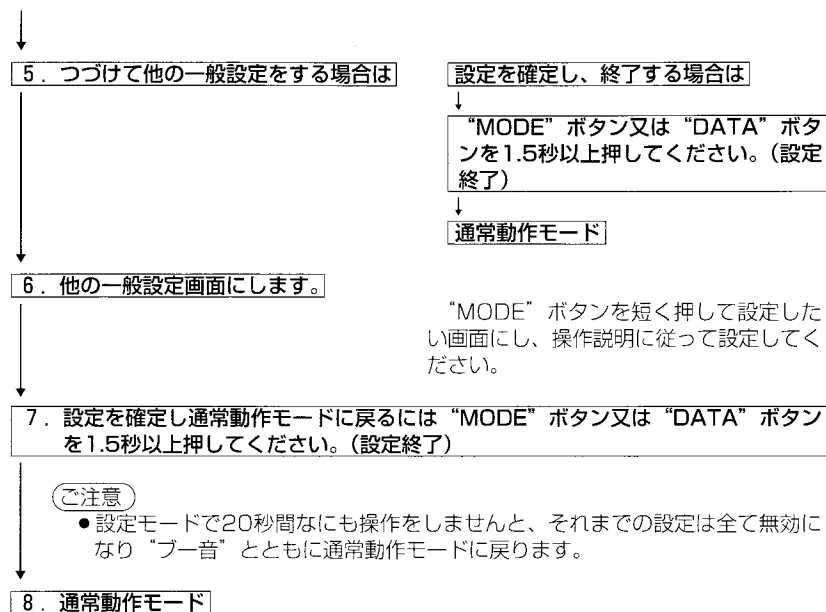


“DATA” ボタンを短く押す度に警告音表示が

bELL → SonG1 → SonG2

と切り替わりますので指定してください。

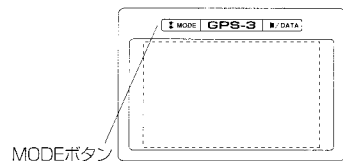
- “bELL” を選択するとGPS警告はベル音で知らせます。
(お買い上げ時はベル音になっています。)
- “SonG1 (メロディ1)” を選択するとGPS警告は「アルルの女」のテーマ曲が流れます。
- “SonG2 (メロディ2)” を選択するとGPS警告は「Gメン75」のテーマ曲が流れます。



＜AAC（オートアラームカット）の反応速度を変更したいとき＞

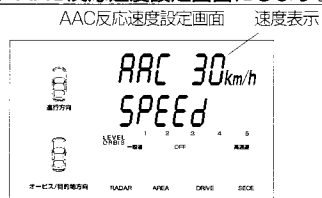
本製品は低速走行、停車時に警告音をカットするAAC（オートアラームカット）を有しています。また速度設定も0 km/h～60km/hまで可変することができます。（設定幅10km/h）

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。

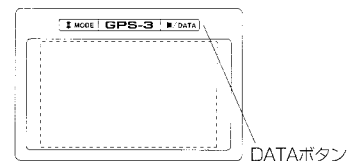


2. 一般設定モードになります。

3. AAC反応速度設定画面にします。



4. 速度の設定をします。



5. つづけて他の一般設定をする場合は

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでAAC反応速度設定画面にしてください。

“DATA” ボタンを短く押す度に速度表示が10km/h単位で0～60km/hまで変化しますので設定したい速度に合わせます。
(お買い上げ時は30km/hに設定)

設定を確認し、終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確認し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

●AACの動作確認

(1) GPS測位（自車位置確定）時は…

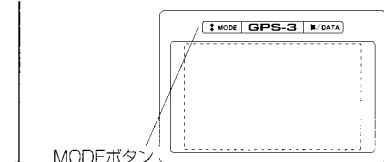
AAC設定速度未満のときGPS警告音、レーダー波警告音はカットされ、AACマークが消灯します。
AAC設定速度以上になるとAACマークが点灯し、警告音はカットされません。

(2) GPS未測位（衛星表示画面）時は…

GPS電波を受信できないときは、自動的に振動センサーに切り替り、車の振動により走行、停車を判別し警告音をカットします。
あらかじめ、振動センサー感度の設定をする必要があります。設定方法はP 31振動センサーの感度設定方法を参照してください。

〈レーダーの受信感度を設定します〉…受信感度を5段階に調節できます。
 受信感度はLOCAL1/LOCAL2/SUPER1/SUPER2/OFFの5ポジションあり、走行状況にあわせ選択してください。

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



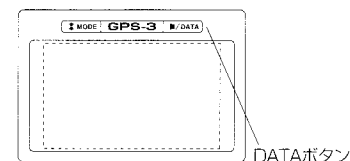
2. 一般設定モードになります。

3. レーダー感度設定画面にします。



"MODE" ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでレーダー感度設定画面にしてください。

4. 受信感度の設定をします。



"DATA" ボタンを短く押す度に受信感度表示が
 SUPER1→SUPER2→OFF→LOCAL1→LOCAL2
 と変化しますので、希望する感度に設定してください。

- SUPER1を選択するとアラーム感度が高くなります。
 (お買い上げ時はSUPER1に設定してあります)
- SUPER2を選択するとアラーム感度がSUPER1より敏感になります。
 (高速走行時に適しています)
- LOCAL1を選択するとアラーム感度が低くなります。
 (市街地走行に適しています)
- LOCAL2を選択するとアラーム感度がLOCAL1よりやや敏感になります。
- OFFを選択するとレーダー受信機能を停止させ、GPSによる警告のみとなりますので注意が必要です。

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し、終了する場合は

"MODE" ボタン又は "DATA" ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

"MODE" ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには "MODE" ボタン又は "DATA" ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

【ご注意】

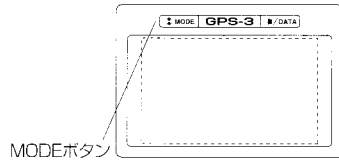
・設定モードで20秒間なにも操作をしなければ、それまでの設定は全て無効になり "ブー音" とともに通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

〈オービス登録点とオリジナルポイント（ユーザーメモリー）の優先順位〉

同一反応圏内にあるオービス登録点とオリジナルポイント（ユーザーメモリー）の警告優先を指定できます。

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



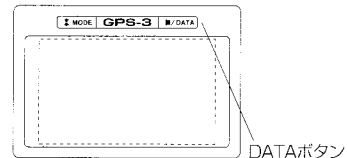
2. 一般設定モードになります。

3. 優先動作指定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので優先動作指定画面にしてください。

4. 優先順位を指定します。



“DATA” ボタンを短く押す度に優先表示が

→ orbis → uSEr

と切り替りますので指定してください。
(お買い上げ時はorbis（オービス）に設定してあります)

- “orbis” を選択すると優先順位は…
 - ①オービスエリア、反応方位（※1）内にあるオービス登録点
 - ②接近し、反応方位内にあるオービス登録点
 - ③接近するオリジナルポイント
 - ④遠ざかる警告音“OFF”のオリジナルポイント
- “uSEr” を選択すると優先順位は…
 - ①接近するオリジナルポイント
 - ②遠ざかる警告音“OFF”のオリジナルポイント
 - ③オービスエリア、反応方位内にあるオービス登録点
 - ④接近し、反応方位内にあるオービス登録点

(※1) 反応方位…本製品のオービス登録点には位置データの他にも設置方位情報が登録してあります。
これは車両進行方向とは異なる設置方位のオービスに反応させない為であります。
反応方位は±20°～±180°まで設定可能で設定方法はP46アドバンス設定モードのオービス反応方位の設定を参照。

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し、終了する場合は

↓
“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

↓
通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

○注意

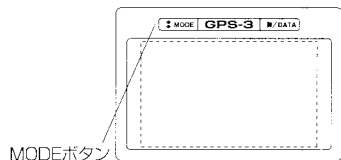
・設定モードで20秒間なにも操作をしませんと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

〈振動センサー感度を設定します〉… 5段階の設定ができます。

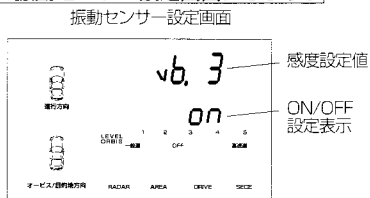
本製品は低速走行時に警告音をカットするAAC（オートアラームカット）を有していますが、GPS電波を受信できない場合は自動的に振動センサーに切り替え車の振動を感知し、走行、停車を判別します。車の振動に応じて振動センサーの感度を設定してください。

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



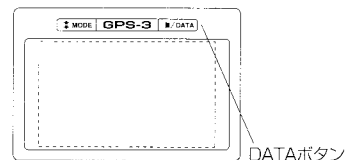
2. 一般設定モードになります。

3. 振動センサー設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので振動センサー設定画面にしてください。

4. 振動センサーのON/OFFを指定します。



“DATA” ボタンを短く押す度に ON←→OFFが切り替りますので指定してください。

- ONを選択すると振動センサーが働きます。
(お買い上げ時はONに設定)
- OFFを選択すると振動センサーの機能は停止します。
(AACマークは常時点灯し、警告音はカットされません)

5. 振動センサーをONにした場合

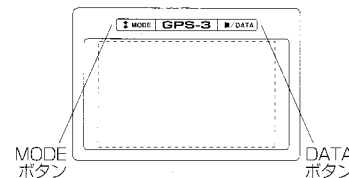
振動センサーをOFFにした場合

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押し続けてください（設定終了）

通常動作モード

※OFFを設定した場合は、ここで必ず終了してください。

6. 感度の設定をします。



“MODE” ボタンを短く押してください。感度設定値が点滅します。つぎに“DATA” ボタンを短く押すと感度設定値が

1 → 2 → 3 → 4 → 5 と切り替りますので設定してください。

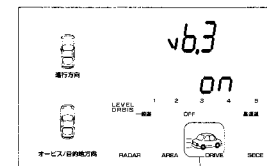
- 感度は数値が大きくなると“低く”なりますので注意してください。
(お買い上げ時は“3”に設定)

7. 振動センサーの動作確認

振動センサーをOFFにした場合は

AACマークが常時点灯し警告音はカットされません。

- 1 エンジンをかけ車をアイドリング状態にします。
AACマークが消灯していることを確認してください。



AACマーク
(走行で点滅
停止で消灯)

- 2 車を走行させます。
AACマークが消灯から点滅に変わることを確認してください。

※正常に動作しない場合は振動センサーの感度を変更してください。
※走行しても点滅しない場合は感度を高く（設定数値を小さく）してください。
※アイドリング状態で消灯しない場合は感度を低く（設定数値を大きく）してください。

ご注意

- 振動センサー感度を変更しても正常に動作しないときは本製品の取り付け場所を変えてみてください。
- 車によっては振動センサーの設定ができない場合があります。このときは、振動センサーはOFFにして使用してください。

8. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。但し、感度の設定～動作確認は40秒間です。

9. 通常動作モード

※つづけて他の一般設定をする場合は前述の方法で操作してください。
但し、OFFの設定をした場合は、つづけて他の設定をすることはできません。

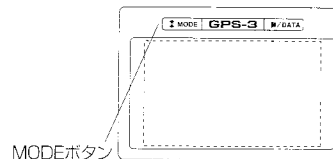
ご注意

- 振動センサーをOFFに設定した場合は必ず設定を確定し、一度、通常動作モードに戻ってください。
つづけて他の設定をすることはできません。

〈一般設定モードを全て初期状態にもどす〉…

一般設定モードを初期状態（お買い上げ時）に戻すことができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上長押しします。



2. 一般設定モードになります。

3. リセット画面にします。

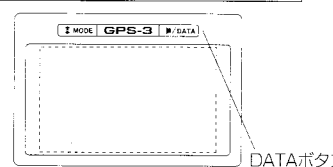


“MODE”ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでリセット画面にしてください。

ご注意

- すでに初期状態になっているときはリセット画面は出ません。

4. リセット（初期状態）します。



“DATA”ボタンを短く押す度に no ↔ YES が切り替わりますのでリセットする場合は YESを指定してください。

5. “MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。

ご注意

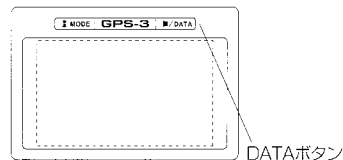
- 20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

6. 通常動作モード（リセット完了）

3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法

本製品はあらかじめ登録してあるオービス位置の他に100ポイント任意に登録することができます。新設等で本製品に入力されていないオービス位置や目的地登録をすれば、あなただけのオリジナルポイントがメモリーできます。また登録点は警告音の“ON”“OFF”を設定できます。警告音“OFF”設定の場合、レーダー波もカットしますので、自動ドア等の不要な電波も完全にキャンセルできます。さらに“ナビポイント登録”すれば目的地まで誘導してくれるナビゲーションとしても使用できます。

1. DATAボタンを1.5秒以上長押しします。

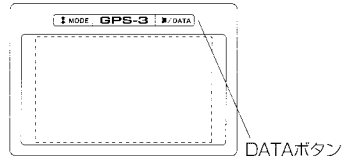


2. オリジナルポイント設定モードになります。

オリジナルポイント設定表示画面



3. 登録アドレスを指定します。

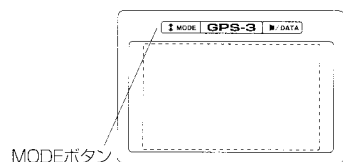


“DATA” ボタンを短く押して登録する場所を決めます。
“DATA” ボタンを押す度に点滅している登録アドレス番号が01～100まで変化しますので登録する場所を決めてください。

メモ

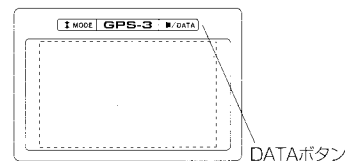
- 登録済みのメモリーがある時は、未登録のアドレス番号の内、最も若い番号を表示します。
- “MODE” ボタンを押しながら“DATA” ボタンを短く押すと逆方向に変化します。

4. 属性設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押すとアドレス番号の上に表示が点滅します。
ここで登録点の警告音の“ON”“OFF”“ナビポイント”“未登録”を決めます。

5. 属性を設定します。

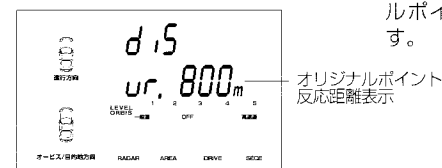


“DATA” ボタンを短く押す度に属性表示が
→ (----) → (SPon) → (SPoFF) → (nAvi.P) →
と切り替えますので選択してください。

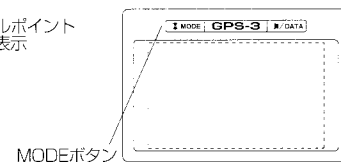
- “----” を選択すると未登録の指定になります。
〈登録済のメモリーを個別消去したい場合はここを選択してください。〉
- “SPon” を選択すると登録ポイントで警告音が発せられます。
- “SPoFF” を選択すると登録ポイントで警告音がかットされます。
〈自動ドア等の不要電波をキャンセルする場合に便利です。〉
- “nAvi.P” を選択すると登録点まで誘導してくれるナビゲーションシステムになります。

6. オリジナルポイントの反応距離設定画面にします。

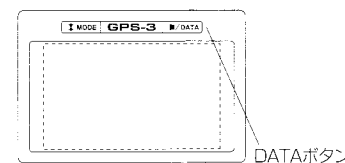
オリジナルポイント反応距離設定画面



“MODE” ボタンを短く押すとオリジナルポイントの反応距離設定画面になります。



7. 反応距離の設定をします。



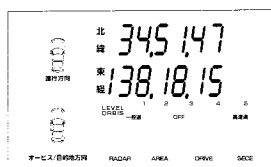
“DATA” ボタンを短く押す度にオリジナルポイント反応距離表示が100m単位で100～2000mまで変化しますので設定したい距離に合わせてください。
(お買い上げ時は800mに設定)

ご注意

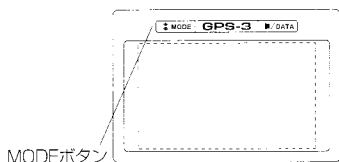
- ナビポイント登録した場合は6、7の反応距離設定画面はスキップされて、次の緯度／経度設定画面になります。

8. 緯度/経度設定画面にします。

緯度/経度設定画面



“MODE” ボタンを短く押すと緯度/経度設定画面になります。



9. 緯度/経度を設定します。

- (1) 自転車位置が確定している時で、現在位置を登録する場合は…
“北緯”と“東経”の表示が[点灯]していることを確認してオリジナルポイント設定モードを終了します。(北緯と東経が点灯していれば現在位置です)
- (2) “北緯”と“東経”があらかじめわかっている場合は…
自転車位置の確定の有無にかかわらず、どこでも登録できます。

●緯度、経度入力による登録方法

- ①MODEボタンを短く押す度に北緯の“度” → “分” → “秒” → 東経の“度” → “分” → “秒”の順で変化しますので順番に入力してください。

× モ

- DATAボタンを押しながらMODEボタンを短く押すと逆方向に変化させることができます。

- ②入力は点滅しているところで“DATA”ボタンを短く押す度に数値が変化しますので希望の数値に合わせてください。

× モ

- MODEボタンを押しながらDATAボタンを短く押すと逆方向に数値を変化させることができます。

※このとき、画面の緯度、経度の文字は点滅し、現在位置ではないことを示します。

数値を変化させると点滅 (自転車位置確定しない時も点滅)

“度” “分” “秒”



“度” “分” “秒”

10. 登録モードを終了します。

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押しします。

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしなければそれまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

11. 内容が確定され、通常動作モードになります。

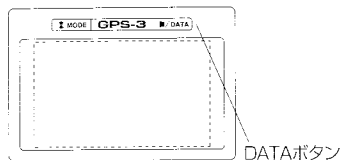
× モ

- 途中で操作や設定がわからなくなった場合は、そのまま放置し、通常動作モードに戻ったら再度設定をしてください。

〈登録した内容を全てクリアしたいときは〉…初期状態に戻します。

登録した内容を全て消去することができます。

1. DATAボタンを1.5秒以上長押しします。



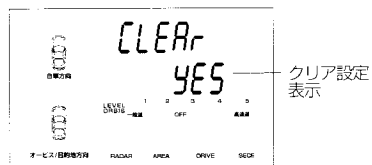
2. オリジナルポイント設定モードになります。

オリジナルポイント設定表示画面

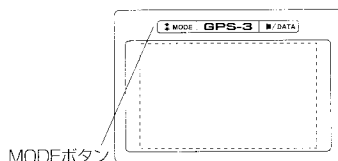


3. クリア画面にします。

クリア画面



“MODE” ボタンを短く押していくとクリア画面になります。



【ご注意】

- 未登録の場合はクリア画面は表示されません。

4. 内容をクリアします。

“DATA” ボタンを短く押す度にクリア設定表示が
“no” ↔ YES
と変わりますので “YES” を選択してください。

- × モ
- クリアを中止する場合は “no” を選択するか、20秒間なにも操作をしないでください。

5. クリアを確認し、終了します。

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押します。

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり “ブー音” とともに通常動作モードに戻ります。

6. 通常動作モードになります。

〈オリジナルポイント登録位置に接近すると〉

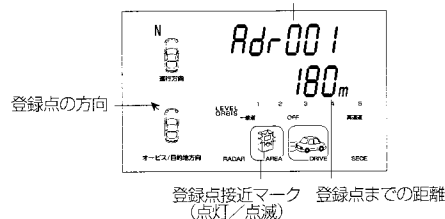
オリジナルポイント登録をした地点に近づくと、警告音および登録地点接近マークでお知らせします。警告音、登録地点接近マークは走行速度や登録ポイントに近づくと速さかると、警告方法が少し異なります。下表を参考にしてください。

	登録点からの距離（※1）	設定速度（※2）以上	AAC反応速度～設定速度未満
警告音	高速反応距離	接近で警告音が鳴る。遠ざかると鳴らない。	鳴らない。
	設定した反応距離	↓	接近で警告音がる。遠ざかると鳴らない。
	高速反応距離の1/2	接近で警告音の鳴る間隔が短くなります。遠ざかると鳴らない。	↓
	設定した反応距離の1/2	↓	接近で警告音の鳴る間隔が短くなります。遠ざかると鳴らない。
登録点接近マーク	高速反応距離	点灯。	消灯
	設定した反応距離	↓	点灯。
	高速反応距離の1/2	点滅。	↓
	設定した反応距離の1/2	↓	点滅。

〈登録位置に接近したときの画面表示〉

登録点が反応距離範囲に入ると自動的に警告表示画面に変わります。

登録点のアドレス番号表示



〈ご注意〉

- 登録点の警告はGPS電波を受信していないと動作しません。
(衛星数表示画面で数字が点滅のとき)
一般にトンネル、森林の多い山間部、高層建築物の近く、高架道路の下などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
- 走行速度がAAC反応速度未満の場合、警告音はカットされます。
AAC反応速度の設定方法はP25〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照
- (※1)登録点からの距離で高速反応距離とは設定した反応距離に高速反応距離乗率を乗じた距離です。(※2)の設定速度以上で走行したときの反応距離です。
高速反応距離乗率を変更することができます。
お買い上げ時は1.5に設定。(P50アドバンス設定モード、反応距離乗率の設定参照)
- (※2)設定速度は(P50アドバンス設定モード、速度設定参照)。お買い上げ時は80km/hに設定。

〈設定速度と反応距離の関係〉

- ・速度を80km/hに設定
- ・反応距離を800mに設定
- ・高速反応距離乗率を1.5に設定

上記設定条件では

高速反応距離 = $800 \times 1.5 = 1200\text{m}$

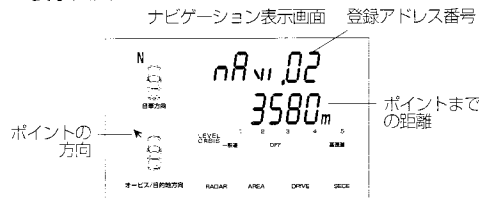
- 80km/h未満で走行した場合は800m手前から反応
- 80km/h以上で走行した場合は1200m手前から反応となります。

〈ナビポイントの使い方〉…目的地まで誘導するナビゲーションシステム

属性設定で“nAvis.P”（ナビポイント）を設定した場合の操作方法。

1. 通常動作モード時にナビゲーション表示画面にします。

- MODEボタンを短く押す度に、画面が変わりますので、下図のナビゲーション表示画面にしてください。



2. ナビポイントが複数登録してある場合は、再度“MODE”ボタンを短く押すと登録アドレス番号順にナビポイントが表示されます。

3. 目的のナビポイントを指定してください。

ご注意

- ナビポイント登録点が一つも無いときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。
- ナビポイントが複数登録してある場合、通常動作モードの他の画面に移行するときは、“MODE”ボタンを1.5秒以上押してください。
- ナビポイントの距離計算は、簡易計算により直線距離を算出しているため距離があまり大きいと誤差がでます。数キロ以内の近距離では誤差は無視できます。
- 目的地までの距離は最大1,999,000m手前より表示できます。
- GPSによるオービス登録点やオリジナル登録点に接近すると自動的に警告画面に変わります。

4. アドバンス設定モードの設定方法

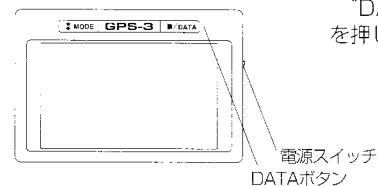
本製品は一般設定モード、オリジナルポイント設定モードだけでなく、さらにオリジナルな設定ができるアドバンス設定モードがあります。

一般設定、オリジナルポイント設定と組み合わせ使用すれば、あなたのドライブスタイルに合せたカスタム仕様のレーダー探知機が誕生します。

〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉

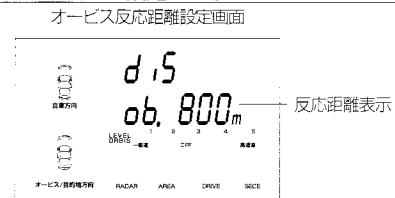
本製品にあらかじめ登録されているオービス点の反応距離を変更することができます。

1. アドバンス設定モードにします。



“DATA”ボタン又は“MODE”ボタンを押しながら電源を入れます。

2. アドバンス設定モードになり、オービス反応距離設定画面が表示されます。

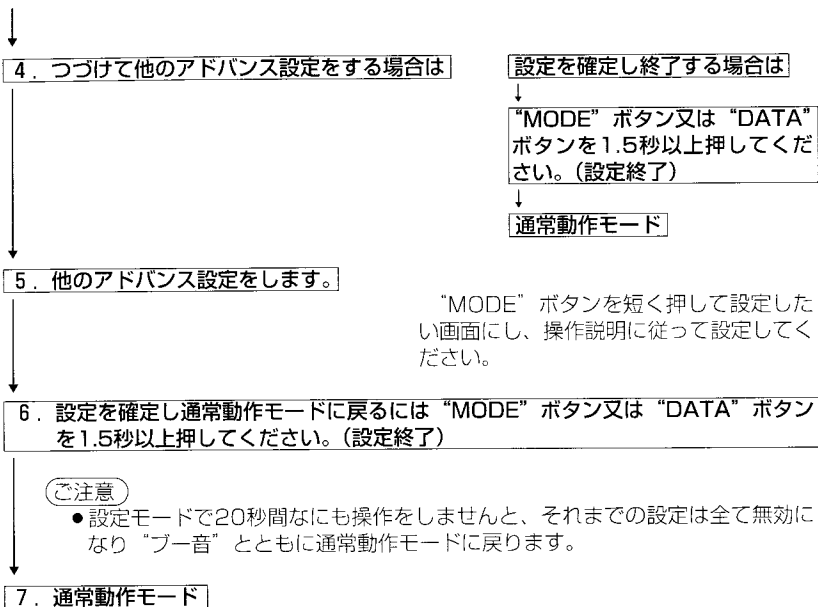


3. 反応距離を設定します。

“DATA”ボタンを短く押す度に反応距離が100m単位で400m～2000mまで変化しますので、設定したい距離に合せます。

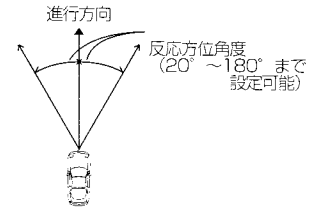
(お買い上げ時は800mに設定)

- “MODE”ボタンを押しながら“DATA”ボタンを短く押すと設定値が逆方向に変化します。

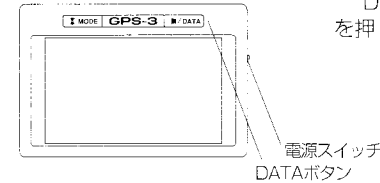


〈登録オービスの反応方位を変更したいとき〉

本製品は登録オービス点の反応方位を設定することができます。方位角度を狭くすれば対向車線のオービスや、直交する道路沿いにあるオービスに対し反応しなくなります。



1. アドバンス設定モードにします。

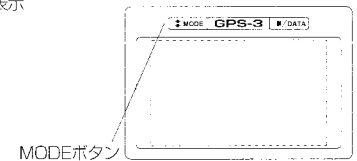


“DATA” ボタン又は “MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. オービス許容方位画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、オービス許容方位画面にしてください。



- × モ
- “DATA” ボタンを押しながら “MODE” ボタンを短く押すと画面は逆方向に変化します。

3. 方位角度を設定します。

“DATA” ボタンを短く押す度に方位角度が10度単位で±20° ~ ±180° まで変化しますので設定したい角度に合わせます。
(お買い上げ時は±150° に設定)

ご注意

- 高速道路等のカーブの少ない道路では方位角度を狭くすることにより、不要なオービスに反応しなくなりますが、カーブが多い道路などでは至近距離までオービスに反応しない場合がありますので注意が必要です。

4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには “MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

ご注意

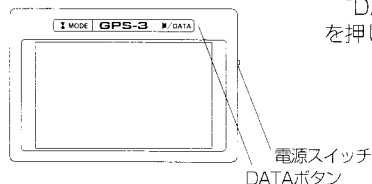
- 設定モードで20秒間なにも操作をしませんとそれまでの設定は全て無効となり “ブー音” とともに通常動作モードに戻ります。

7. 通常動作モード

＜極近反応距離（オービスエリア距離）を変更したいとき＞

本製品にあらかじめ登録されているオービス点の極近反応距離（オービスエリア距離）を変更することができます。

1. アドバンス設定モードにします。



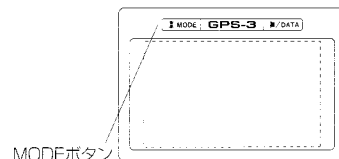
“DATA” ボタン又は “MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. 極近距離（オービスエリア距離）設定画面にします。

極近距離（オービスエリア距離）設定画面



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、極近距離画面にしてください。



3. 距離を設定します。

“DATA” ボタンを短く押す度に極近距離が50m単位で100m～400mまで変化しますので設定したい距離に合わせて下さい。(お買い上げ時は200mに設定)

4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効となり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

7. 通常動作モード

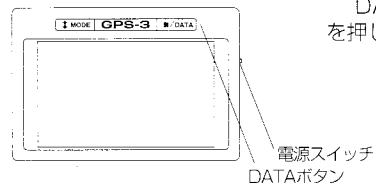
〈高速反応距離とその速度を変更したいとき〉

高速反応距離とは設定速度以上のスピードで走行したときの反応距離です。前述のオリジナルポイント反応距離や、オービス反応距離に高速反応距離乗率を乗じた距離です。

設定速度と反応距離乗率を変えることにより、GPS警告の反応を早くしたり遅くしたりできます。

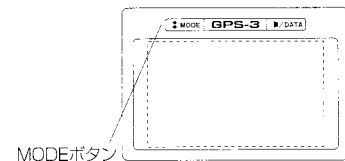
1. アドバンス設定モードにします。

“DATA” ボタン又は“MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。



2. 高速度設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、高速度設定画面にしてください。

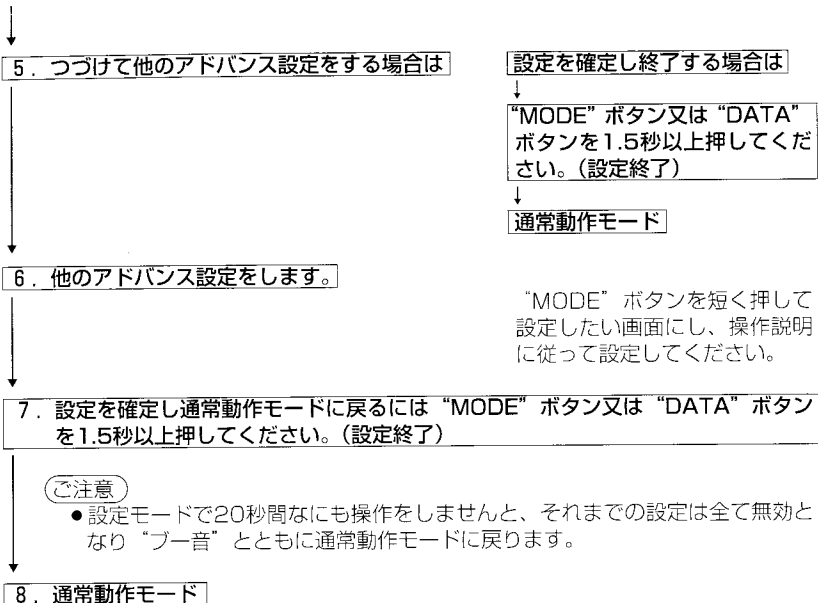


3. 高速反応距離乗率を指定します。

“DATA” ボタンを短く押す度に高速反応距離乗率が0.1単位で1.0～2.0に変化しますので希望する数値に設定します。(お買い上げ時は1.5に設定)

4. 速度を設定します。

“MODE” ボタンを短く押すと高速度設定表示が点滅します。つぎに“DATA” ボタンを短く押すと高速度設定表示が10 km/h単位でAAC反応速度～200km/hまで変化しますので設定したい速度に合わせてください。(お買い上げ時は80km/hに設定)



● 設定速度と反応距離の関係は

登録点	走行速度	
	設定速度以上	設定速度未満
オービス登録点	オービス反応距離×高速反応距離乗率	オービス反応距離
オリジナルポイント登録点	ユーザー反応距離×高速反応距離乗率	ユーザー反応距離

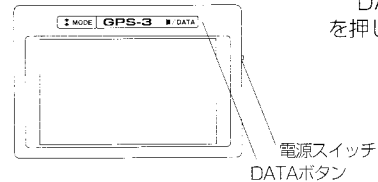
(例) オービス反応距離 = 1000m, 設定速度 = 90km/h
 高速反応距離乗率 = 1.2の設定では、90km/h未満走行では1000mから、90km/h以上の走行では1200mからの反応、警告となります。

● 一般設定モードのオービス選択画面で “HI” (高速道路のみ反応) を選択した場合、設定速度未満で走行するとGPS警告はカットされます。但し、AAC反応速度を0km/hとしたときは設定速度に関係なく反応します。

〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉

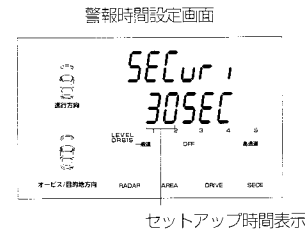
本製品はGPS測位機能を利用して、車の位置が変化したときに警告を発するセキュリティモードを搭載しています。
 ここでの設定は位置データに変化があった場合、警告を発する時間を決めます。(セキュリティモードの操作方法はP55セキュリティモードの設定と警告方法参照)

1. アドバンス設定モードにします。

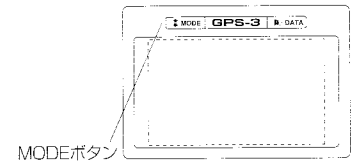


“DATA” ボタン又は “MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. 警報時間設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、警報時間設定画面にしてください。



3. セットアップ時間を指定します。

“DATA” ボタンを短く押す度にセットアップ時間が10秒単位で10秒～100秒まで変化しますので希望する時間にセットします。(お買い上げ時は30秒に設定)

4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

↓

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

↓

通常動作モード

5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効となり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

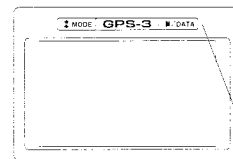
7. 通常動作モード

〈アドバンス設定モードを全て初期状態にもどす〉

アドバンス設定モードを初期状態（お買い上げ時）に戻すことができます。

1. アドバンス設定モードにします。

“DATA” ボタン又は“MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。



電源スイッチ
DATAボタン

2. リセット画面にします。

リセット画面



リセット
選択表示
(no/YES)

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでリセット画面にしてください。

ご注意

- すでに初期状態になっているときはリセット画面は出ません。

3. リセット（初期状態）します。

“DATA” ボタンを短く押す度にno↔YESが切り替りますのでリセットする場合はYESを指定してください。

5. “MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。

ご注意

- 20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

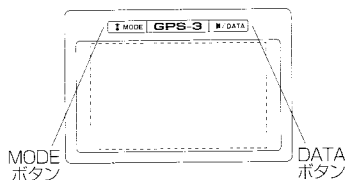
6. 通常動作モード（リセット完了）

5. セキュリティモードの設定と警告方法

本製品はGPS測位機能を利用して、車の位置が変化したときに警告を発するセキュリティモードを搭載しています。

〈操作方法〉

1. 位置ロックの設定をします。



“MODE” ボタンと“DATA” ボタンを同時に1.5秒以上押します。

●位置ロックとは基準となる位置データを入力することです。

GPSにより自車位置が確定しているときは現在地が位置データとして入力、記憶されます。

自車位置が確定していないときは最後に確定された位置が入力、記憶されます。

2. セキュリティ・マークが点灯し、位置がロックされます。

位置ロック設定表示画面



セキュリティ・マーク

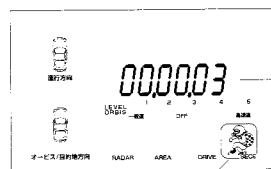
3. 電源をOFFにします。

電源スイッチをOFFにするかエンジンを切ります。

(セキュリティ待機状態に入ります。)

4. 再度電源が入ると画面がタイムカウント表示になり、警告動作の準備に入ります。(セキュリティモード1)

タイムカウント表示画面



タイムカウント表示

セキュリティ・マーク (点滅)

5. セキュリティ動作の開始時間になったときの位置が最初設定した位置ロックデータと変化しているとブザー音で警告をします。(セキュリティモード2)

ご注意

- セキュリティ動作開始時間は変更することができます。P52〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉参照。(お買い上げ時は30秒にセットされています。)
- GPS測位(自車位置確定)が開始時間内であればその時間で、開始時間外であれば自車位置確定後すぐに警告を発します。
- 位置ロックデータと測位後の位置ズレが50m以上ないと警告を発しません。(但し、GPS衛星の補足数等により多少バラツキはあります。)

〈セキュリティモードを解除するには〉

セキュリティモードを解除するには“MODE” ボタンと“DATA” ボタンを同時に1.5秒以上押します。

〈セキュリティ別売品について〉

本製品の外部セキュリティ端子に別売品のリレーボックスを接続することができます。車のクラクションを鳴らすユニットです。(品番：MST-10)

特殊な操作をしない限り、コードを切断してもクラクションは鳴り続けます。(近日発売予定)

6. その他の別売品

品番：ST-3 (近日発売予定)

9. 使用上のご注意

- 本製品はGPS電波が受信可能な場所に設置して下さい。また地理的状況などにより、GPS電波を受信しにくい時や、受信できない場所があります。(トンネルの中、高層ビルに囲まれた場所、高い樹木に囲まれた場所、2～3層の構造の道路の下など)
- オービスやオリジナルポイントの登録位置はいつも同位置を正確に再現するとは限りません。衛星軌道が時々刻々変化する事も影響し、測位日時により、20～30mのズレ(誤差)が生ずる事があります。
- 本製品はレーダー波を使用していないオービス取り締まり機(ループコイル式、LHシステム、光電管式)をGPS測位機能で検知、警告します。GPS電波を受信できない状況下では、レーダー探知機部のみの機能となります。
- 金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車はGPS電波を受信しにくい場合があります。
- 新設等で本製品に入力されていないループコイル式、光電管式のオービスには反応しません。その場合はオリジナルポイント登録をしてください。
- 画面の表示や動作が通常とは違うときは、初期化を行ってください。(P17参照)
- GPSレシーバーは非常に精密な部品によって構成されています。本体の熱が上昇すると最初の衛星が捕捉しにくくなり、自車位置確定に時間がかかります。場合によっては故障することもありますので、真夏など停車中にセットの温度が上昇する事が予想される場合は断熱シートをかぶせたり、温度の上がりにくい場所に本製品を移動してください。
- 本製品は電源をOFFとしてもGPS衛星軌道情報やラスト位置等がバックアップされます。次に電源をONとする場所がラスト位置と大きく異なると衛星捕捉に時間がかかり、自車位置確定までに時間がかかります。したがって、電源がOFFのまま、車両を移動することは好ましくありません。
- 衛星数表示画面で衛星数が点滅している状態で高速走行をすると自車位置確定までに時間がかかる場合があります。衛星数が点灯しない場合は一度車を停車して衛星数が点灯してから走行してください。
- 高速道路上に設置されているオービスの側道等を走行中も、GPSによる警告を発します。これは登録ポイントに近づいている為で誤作動ではありません。
- 本製品は日本国内で正常に動作します。日本以外の国ではGPS動作が保証外となります。またレーダー周波数が異なる場合があります。
- 本製品はGPSによる誤作動対策の“GPS対応”とは異なります。
- 本製品を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけて下さい。
- 仕様および外観の一部を予告なく変更する場合があります。

10. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源ジャックにしっかりと差し込まれていない。 ●シガーライターソケットの汚れによる接触不良(2～3回まわしながら差し込んでください) ●シガーライターソケットに電源がきていない。(シガーライターを差し込んで赤熱することを確認してください) ●シガーライタープラグのヒューズが切れている。(新しいヒューズと交換してください)
取り締り機に接近しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ●GPS電波を受信していない。 ●本製品に登録されていないオービス、またはスピード取締機でないシステム(Nシステム等)である。(取締機で反応しない場合はオリジナルポイント登録をおすすめします) ●取締準備中または終了後などでレーダー式取締機に電源が入っていない。 ●AACの反応速度設定が高すぎる(AACの反応速度を低くしてください)
取り締り機以外で反応する	<ul style="list-style-type: none"> ●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響
車のキーを抜いても電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ●車のキーを抜いてもシガーソケットの電源が切れない車があります。(長時間使用しない場合はプラグを抜いてください)

11. 主な仕様

保証規定

1. GPS部

項目	種類	規格		備考
受信部	受信周波数	1.57542GHz		
	追尾コード	C/Aコード		
	受信チャンネル	12チャンネル/パラレル		
メモリ	オービス登録点	登録数	約630箇所	ROMに固定
		登録種類	レーダ、ループ	
	ユーザー登録点	最大登録数	100ポイント	EEPROMに随時書き込み/消去
		設定属性	警報許可、警報不許可、ナビポイント	
警報距離	一般警報距離	オービス登録	一律に設定可	
	ユーザー登録点	アドレス毎に設定可		
	緊急警報距離	一般警報距離の1/2		
警報音	ベル	DTMF (ユーザー登録点)、リング (オービス登録点)		
	メロディ1	アルルの女 (ユーザー登録点、オービス登録点共通)		鳴動ピッチ変化
	メロディ2	Gメン75 (ユーザー登録点、オービス登録点共通)		
表示情報	-	衛星数、緯度、経度、速度、標高、日時、距離、方位		

2. レーダー部

項目	条件	規格		備考
受信方式	-	ダブルスーパーヘテロダイン		
受信周波数	Xバンド	10.525GHz		X, K自動判別
	Kバンド	24.15GHz		
受信モード	SUPER2	感度高、応答性重視		
	SUPER1	感度高、耐妨害特性重視		
	LOCAL2	感度標準、応答性重視		
	LOCAL1	感度標準、耐妨害特性重視		
受信感度	SUPER	Xバンド	-95dBm以下	
		Kバンド	-90dBm以下	
	NORAMAL	SUPER+3dB以上		
警報	音	レーダ波	アラーム音1	ピッチ変化
		ステルス波	アラーム音2	
	表示	5点バーグラフ		

3. 外観/一般

項目	仕様		備考
サイズ	120W×81H×29.5D		突起部含まず
ディスプレイ	55×90 TNモノクロ透過型LCD		
操作部	ボタン	2個 MODE、DATA	
	スイッチ	1個 POWER	
動作環境	保存温度	-20℃～+70℃	
	使用温度	0℃～+60℃	
電源	電圧	DC12V～DC24V	
	電流	150mA	
外部接続端子	電源	φ1.3電源ジャック	右側面
	外部ブザー	φ2.5モノジャック	右側面 (別売)
	ST-3取付部	スライドシュー	リア部 (別売)
取り付けネジ	UNC1/4-20山 (スタンド取り付け用穴)		
質量	200g		本体のみ

- 保証期間内 (お買い上げ日より1年間) に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
- 次のような場合には保証期間であっても有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、規定外の電源 (電圧・周波数) の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ